

日本リスク研究学会 拡大理事会 議事録

会場 桜美林大学四谷キャンパス

日時 2010年6月5日 12:00 - 16:00

参加者 (敬称略)

東海、片谷、近本、前田、甲斐、長坂、小林、水野、広田、井手 (事務局)

1. 役員選出について

小林選挙管理委員会委員長から東海会長へ、資料に基づき報告があった。

(資料 平成22年日本リスク研究学会 選挙管理委員会報告)

開票の結果、全員当選となったことが報告された。

引き続き、小林委員長から反省と要望事項が報告された。

(資料 日本リスク研究学会選挙にかかわる反省・要望事項)

ここで、選挙管理委員会の小林委員長、水野委員、広田委員は退席し、引き続き設立時理事会が行われた。

設立時理事会 議事

1. 総会議案書の審議

18日の総会に提出予定の議案書について審議した。

主な議論の内容は以下のとおり。

- ・6月11日に監査を実施する。
- ・会費納入状況が報告された。
- ・監査用資料が回覧され、これに関連し、会計をどのように新しい事務局 (学会支援センター) に移行するのかが議論された。特に
お金 (領収書、データ) のやり取りのシステムを、早急に決める必要がある
ということが指摘された。

2. 引継ぎに関する申し合わせ

6月18日の理事会で引継ぎ作業を行うこととなった。

まずは新会長、新副会長の候補を決めることになる。

3. 各種委員会継続の件

それぞれの委員会で引継ぎのための用意を進めることが確認された。

またそれぞれの委員会で作成した内規などをまとめた規定集を作る必要があることが指摘された。

具体的な委員会の継承については、新理事において改めて議論することとなった。

4. その他

- ・リスクマネジメント認定委員会については、阪大のプログラムが今年度で終了することを踏まえ、プログラム認定の体制の見直しを含め、事業計画と、事務局体制の確立が必要だということが確認された。
- ・事業委員会のほかに企画委員会が必要ではないかとの意見が出された。
- ・今年中の公益法人認定を目指すというスケジュールが示された。
- ・深田監事から、監査の頻度を半期に一度にしたほうがいいのではとの提案があったことが示された。